

## 学校推薦型選抜入学試験（小論文） 問題用紙

次の文章は、岐阜市内の施設での多言語表記について、岐阜市が見解を述べたものである。この文章を読んで、問一、問二に答えなさい。

民間事業者等に対して実施したアンケート等での調査によると、現在多言語対応を行っていない理由として、「外国人利用者が少ないため」と回答した事業者が多くありました。しかし、今後の社会情勢を考えると、外国人利用者の増加による対応を迫られることが予想されます。また、日本の人口が減少傾向にある中、利用者の増加を図っていく上では、外国人を視野に入れた取り組みが不可欠と思われれます。このような状況を整理すると、施設等の多言語表記を行うことは、メリットがあると考えられます。多言語表記を行うことは、外国人に対し、利用しやすい施設として、アピールする手段の一つとなります。利用しやすい施設として認識されれば、利用者の増加につながります。また、災害や事故、火災等の非常時への対応は、日本人だけでなく、外国人に対しても同様に行う必要があります。多言語表記を行い、非常時に備えておくことで、事業者自らの安心につながります。

岐阜市に住む外国人市民も、岐阜市を訪れる外国人観光客も、ともに国籍はさまざまです。さまざまな言語を表記することが望ましいですが、すべてを表記することはできないため、言語の選択が必要となってきます。多くの方が理解できる言語として、まずは英語が基本となります。英語は母語でなくても、第二言語として習得している人が多く、また、平成二五年度に岐阜市で実施した外国人市民生活実態調査においても、母語以外で情報を受けたい言語として、英語と答えた人が多くいました。しかし、外国人市民も外国人観光客も、必ずしも英語ができるとは限りません。英語の次に必要な言語は何か、まずは、岐阜市の外国人市民と外国人観光客について、国籍別の統計を見ていきましょう。

岐阜市には、約七〇カ国、八五〇〇人の外国人市民が生活しています。国籍別にみると、中国が三八％を占め、次いでフィリピンが二二％、韓国・朝鮮と続きます。最近の傾向としては、ベトナム国籍の人が増えてきており、また近隣市町村においては、ブラジル国籍の人も多く居住しています。英語の次に、外国人市民への対応に必要な言語を考える際、在住する人の割合からみると、中国国籍の人が多いため、中国語（簡体字）の優先順位が高くなります。また、フィリピン国籍の人は、英語を理解できる人が多いため、英語での対応が有効ですが、非常時などは、正確かつ確実に情報を伝える必要があるため、情報の種類によりタガログ語の併記が望まれます。韓国・朝鮮国籍の人は、長く日本に住んでいる特別永住者が多く、日本語を理解できる人が多いため、必要に応じて韓国朝鮮語を併記することが望まれます。ポルトガル語については、近隣市町村にブラジル国籍の人が多いため、市外からの利用が見込まれる施設等は、必要に応じて併記することが望まれます。

岐阜市には、年間約七万人（平成二七年ホテル等宿泊者数）の外国人観光客が訪れます。国籍別にみると、中国が最も多く、次いで台湾、香港、韓国の順に続きます。外国人観光客への対応を考えるうえで、英語の次に必要な言語は、国籍別割合で一番多い中国語（簡体字）となります。また、台湾、香港からの観光客も多いことから、中国語（繁体字）も、必要に応じて併記することが望まれます。韓国朝鮮語についても、韓国からの観光客が多いことから、必要に応じて併記することが望まれます。

以上のことから、生活者としての外国人市民を対象とする場合と、外国人観光客を対象とする場合の両方とも、第一に英語、第二に中国語（簡体字）を表記します。そして、三番目に表記する言語については、その施設の特性や利用状況等を考慮し、言語を選択します。タガログ語は、市民が主に利用する施設が考えられます。ポルトガル語は、市民や市外の近隣住民が利用する施設が考えられます。韓国朝鮮語は、市民と観光客の両方が利用する施設が考えられます。中国語（繁体字）は、観光客が主に利用する施設が考えられます。

\* 岐阜市『ここからはじめる 多文化共生 く岐阜市多言語案内表示ガイドライン』平成二八年三月、より引用。一部、改行、語句の改めがある。

問一 右の文章の要約を四百字程度で解答用紙に記しなさい。

問二 右の文章では、外国人市民や外国人観光客への対応としての多言語表記が述べられている。外国人市民や外国人観光客への対応について、あなたの考えを五百字程度で解答用紙に記しなさい。

受験番号

問一

400

問二

500